

美容師 10 才。

MAKE' S 佐野 亜季子
(東京都渋谷区)

10 年という時間が過ぎました。美容師になってからの時間。最近良くこの 10 年という時間をふり返り思い出す事があります。技術、接客、売り上げ、教育など美容師にとって確実に必要とし悩み続ける事、そんな事を最近よく考えたりもします。そんな中でスタイリストになり私を信頼して来てくれるお客様がいて、自分が生かされているという事にワクワクするような気持ちが出て来ました。少しだけ心が変わって来たのです。

今までもお客様一番とし自分がやれる事を精一杯やって来ましたが、今私が変わってきたのは、お客様の一部である事に気がついたからです。朝起きてからスタイリングをする時、勉強、仕事をする時、寝るまでの 1 日の行動と、その人の人生のイベント（入学式、卒業式、結婚式、旅行）に私がいつも一緒にいるという事。一緒にいても私が作った作品のヘアスタイルとしてですが、何百人というお客様が、私が作ったヘアスタイルでいろんな思い出を写真として残していくから。

幼いころよく祖母に古い写真を見せてもらいました。その写真にも誰かが作ったヘアスタイルが人の思い出の一部として残っていました。私もいろんな人の生活と思い出の一部であるヘアスタイルをいっぱい作りたと思うし、残したいとも思います。美容師として歴史に名を残す事はなかなか難しいけれど一つの家族の思い出として残り続けていくと思うと、ワクワクし、うれしく楽しくなって来るのです。こんな事できるのは美容師くらいしか思いつかないからこの仕事はやっぱり素敵だと思いました。

そして何よりこの心の変化がこの先ずっとあるという事。今私が感じている事なんかより遥かにすばらしい何かを感じられる様にまた 10 年後、20 年後美容師として日々思う事の変化を楽しみたい。そうしたら美容師というこの仕事の大切な何か、まだ私が知らない何かを日々感じ発見していく事ができたら美容師のす

ばらしさを人にも伝えていけるから努力し感じていきたいと思います。また 10 年後？ 5 年後くらいにこの作文を書いたらおもしろいと思いました。